

杉戸中だより

学校教育目標『自主自立』

◎自ら求め真剣に学ぶ生徒

◎自他の人格を尊重する生徒

◎健康・体力の増進に努める生徒

教室での学びの先に

校長 小山 裕之

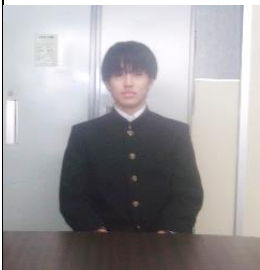
「大丈夫ですか？」お年寄りに声を掛けたのは、道の中央で周囲を見回し、困っている素振りだったからだそうです。その方が足を不自由にされていたので、家に一番近い生徒が一旦自宅に戻り、電話を手にして付き添っていた2人と共に、警察等へ相談をしたそうです。12月末の学校帰りのことでした。

御連絡をいただいた関係部署の方に、感謝申し上げます。そして、学校の外でも、「優しい思い」を「機転を利かせた行動」として実践した2年生3名に、心から拍手を送りたいと思います。新年を迎えて早々のうれしいニュースに、心が温くなりました。



「1年生、素晴らしかったです！」2日ぶりに職員室に戻るや否や、教頭先生が語ったのは1年生の活躍と成長の姿でした。1月10日（水）から3日間、1年生は2泊3日で長野県でのスキー教室を行いました。スキー実習では、インストラクターの先生の指導をよく聞き、仲間と助け合いながら楽しくレッスンに取り組みました。さらに、先

を考えた時間前の行動等、学年職員が課題を投げかけると、実行委員さんや室長さんを中心に声を掛け合い、自分たちで行動を改善することができたそうです。同行していた看護師さんも、「しっかりした生徒さんですね。」と驚いていたそうです。校外での学びを糧として、学級・学年の絆を深めた1年生の活躍が、今後益々楽しみに思えるスキー教室でした。



「私は、継続力を身に付けました。中1の頃から毎日、体幹トレーニングを続け、強い体作りができました。」「私は、元々人見知りな性格でしたが、学級委員や実行委員として友達をまとめる経験を通して、自分を変えることができました。」「私は、定期テストに向けて逆算して学習し、自分に合った勉強法を見つけることができました。」

昼休みや放課後の面接練習では、3年生が中学校生活での成長を、力強く語ってくれています。真っすぐな眼差しには、未来を見つめる光があり、語る言葉には、今にも自立し飛び立とうとするエネルギーを感じます。小学校から培ってきた9か年の学びの集大成として、自己の生き方を切り開こうとしている3年生。そして、逞しい成長の姿を見せる1・2年生。授業やクラスの活動等で育んだ力を土台として、間もなく杉中生一人一人が学年の学びをまとめ、それぞれの学年を卒業し、進級・卒業の時を迎えようとしています。

校門近くの梅が、次々と蕾を開いて陽射しを見上げ、杉戸中に春の訪れを告げています。